

季節とともに変化する茶事を楽しんでももらえたらハッピーです。(田里)

今年は菊紋皿と抱瓶の復元作業に追われる1年になりました。(宮島)



宮島 京子 × 田里 博

みやじま きょうこ

裏千家茶道教授。松涛庵庵主
那覇市生まれ。県立那覇高校を卒業後、文化学院英文科に入学。卒業後に裏千家学園茶道専門学校に進学し、裏千家今日庵での修業を経て帰沖。1997年に「松涛庵」を設立し現在に至る。

たさと ひろし

沖縄県立芸術大学美術工芸学部 工芸専攻陶芸分野教授
糸満市生まれ。琉球大学教育学部美術工芸科を卒業し、1987年に沖縄県立芸術大学美術工芸学部助手に就任。工房「塙」の設立(92年、宜野湾市)を経て、2014年に教授に就任。現在に至る。

新年を飾るセッションは、茶人の宮島京子さんが茶室「松寿庵」に陶芸の専門である田里博さんを招いて、茶道と焼き物の

関係についてお話を進めます。それぞれの道を歩むお2人の対談は読み応えがありますよ。

ゆがんでいるものに感情移入する日本人

宮島 田里先生が勤められている沖縄県立芸術大学美術工芸学部には、私も非常勤講師という形で関わらせていただいております。日頃から大変お世話になっております。田里 こちらこそ、うちの学生たちがいつもお世話になっております。宮島先生にはお茶のことや、焼き物に関するいろいろなご指導をいただいております。特に講義の最終日にはこちらの茶室にご招待いただき、本格的な茶会も体験させてもらっていますね。学生たちもいい刺激をもらっているようです。

宮島 陶芸専攻の学生さんたちですので、作陶にプラスになることがあればと思い、私なりにアドバイスのようなものをさせていただいております。学生さんたちに作っていただいた汲み出し茶碗は、実際の茶事で使用させてもらっていますよ。茶碗もそうですが、お茶の道具はすべて「寸法」で決まります。風炉や水差し、棗(なつめ)などすべてが京畳の寸法の中で決まっています。中国からお茶の文化が伝わってきた頃は道具もすべて中国製で、水屋で点てたお茶を持ち出すので特に問題はありませんでした。

た。しかし利休の時代に入ると、客席で点前をするので道具ひとつを作ってもらうにしても「畳目2つめの寸法でお願いします」となるわけです。寸法というものは、利休の美意識にとって重要な要素だったわけですね。

田里 中国の焼き物に関していうと、宋の時代が一番出がいがいいです。当時留学していた僧侶が帰ってきた窯変天目(ようへんてんもく)や青磁のお碗などがその代表ですが、それらは今の中国にはほとんど残っていません。日本の茶道文化の中で代々伝わってきたそれらの焼き物が、今の日本にわずかに残っているんですね。

宮島 南宋の砧青磁も有名ですが、特に窯変天目は再現不可能な焼き物とされていますよね。中国にはもうありませんが日本には4個残っていて、すべてが国宝に指定されています。豊臣秀吉は朝鮮に出兵した際にたくさんのお茶を連れて帰りますが、それが後の薩摩焼の沈壽官(ちんじゅかん)、福岡の高取焼、山口の萩焼などにつながります。瀬戸地方では天目茶碗を模したものも作られていますね。

田里 宮島先生もご存じのように、千利休が登場したことで焼き物のスタイルが変わってきます。唐物はスキのないシンメトリ

な形ですが、日本だと古田織部の織部焼に代表されるような遊び心のある焼き物が好まれるようになります。宮島 日本人って、どこかゆがんでいたりがざらしているものに感情を移入する傾向があるんですね(笑)。田里 実は先ほどの秀吉による朝鮮出兵のとき、沖繩にも3名の陶工が来ています。彼らは後に現在の壺屋を開くのですが、今はちょうど彼らの来琉400年にあたります。もちろん萩も有田も同様です。

ソフトでデリケートなやり取り

田里 ここにしつらえられている正月飾りについてお聞かせ下さい。

宮島 まずは掛け軸から説明しましょうか。年が明けると宮中では「御歌会始」がありますね。そこで今回は軸に歌切を掛けております。そして結び柳。柳は縁起のいい「陽」の木とされていますので、お正月には柳箸でお屠蘇や重箱をいただいたりしますよね。しなやかで折れにくい柳の木を飾って一陽来復で新年を寿ぐということです。おめでたい芋頭の水差や、羽子板の絵のお茶碗も使っています。炭はクヌギの菊炭を使っています。切り口が菊のようですね。ですよね。お花は椿で、炬の季節の代表格です。それを竹の九重切りの花入れに一輪投げ入れています。

田里 椿はまだつぼみの状態ですが、何か意味があるのですか。

宮島 お茶では椿のつぼみを使います。これから開こうとしているところに未来や力強さを感じますよね。それが持ち味です。もちろん他の花はちゃんと開いた花を使っています。

いますよ。また年明けには「初釜」というお茶会が催されます。社中一同が集まり、それぞれの抱負を話したりしています。茶道は薄茶平手前から始まり、段階を経て濃茶、小習(こならい)、四ヶ伝(しかでん)、台子(だいす)と手前がどんどん難しくなってきました。ですから教室に通うお弟子さんたちそれぞれが目標を持って、初釜の席で発表したりするわけですね。

田里 お茶は約束ごとを覚えるのも大変ですよ。そして、何かに気づかなければいけないという側面もあります。

宮島 そうですね。私を迎えてくれるために、こんな手間を掛けてくれている「お正月だからこういう準備をしてくれたんだ」ということに気づき、そして感謝します。迎えるほうも自分からは言い出さず「気づいてくれたんだ。やってよかった」というように、日本ならではのソフトでデリケートなやり取りがあるんですね。

田里 これみよがしにやられてしまうと、逆に「ちよつと」みたいな感じもありますよね。

県芸が関わる復元作業

宮島 せっかくでするので、初釜のお席にいる気分です。田里先生の今年の抱負をお聞かせ願えますか。

田里 まずは、大切なお子さんを親御さまから預かりしていますので、学生たちが事故なく無事に過ごせるようにしたいです。県外から来ている学生も多いので、口うるさい親父のように思われているかもしれないですね(笑)。あと、うちの大学が県立博物館・美術館から依頼されている七寸皿と抱瓶の復元作業があります。これがまたけっ

こうプレッシャーで(笑)。皿は18世紀に活躍した陶工、仲村渠致元(なかんだかりちげん)の作品とされています。致元は現在名前の残っている陶工の中で最も古く、すぐ精巧な作品を作る陶工として知られています。菊の花びらのような文様を施した菊紋皿ですが、作り方自体がよく分かっています。いろいろな資料を調べながら試行錯誤しているところです。抱瓶のほうは19世紀の作品とされています。手法は一緒ですが、これもまた復元が難しい。3年以内に仕上げなければいけないので、まずはそれらを焼くための小さな薪窯が必要になりますね。今年はこの仕事に追われる1年になりそうです。宮島先生の今年の抱負はいかがでしょう。

宮島 お茶の普及は永遠のテーマです。茶道人口も日本の人口動態と一緒に逆ピラミッドの形になっています。ですから、若い方が「お茶の世界ってこんなに楽しいんだ」と思えるような工夫をしていきたいと思っています。1人でも多くの方にお茶に興味を持ってほしいですね。あとは、お茶の世界は1年サイクルで同じことの繰り返しになりますから、体調に気をつけて日々淡々と過ごしていけるといいなと思っています。こここの教室で学んでいるお弟子さんたちにも、季節の移り変わりとともに変化する茶事を楽しんでもらえたら、それでハッピーです。今日はわざわざおいでいただき大変ありがとうございました。今年もよろしくお願いたします。

田里 こちらこそお招きいただきありがとうございます。今年もよろしくお願いたします。

 **医療法人 陽心会**
理事長 高良 健

 **社会福祉法人 陽風会**
高良 健

大道中央病院
那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代)
美容形成部門 TEL.098-869-0066
リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050

メディカルプラザ大道中央
那覇市宇大道123 TEL.098-886-0007(代)
一般内科部門 TEL.098-869-0711
循環器部門 TEL.098-886-0072
糖尿病部門 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検診部門 TEL.098-886-0078

小規模多機能型ホーム大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0018

地域交流センター大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0056

グループホーム大道が丘
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0036

(提携)メディカルエステ大道
那覇市安里3-1-3 TEL.869-0018

(提携)福祉用具貸与・販売事業所
那覇市安里128 TEL.098-885-0100

(提携)ヒルズガーデンクリニック
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0333

(提携)ヒルズガーデン那覇
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0300

介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030

在宅総合ケアセンター陽心会
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030

大道老人訪問看護ステーション
那覇市大道128 TEL.098-885-2885

グループホームたかまーみの家
那覇市安里3-1-47 TEL.941-0080

(提携)那覇市地域相談センター末吉
那覇市首里末吉4-6-1大明ビル1F TEL.098-885-0178

末吉老人福祉センター
那覇市首里末吉2-14 TEL.098-886-3510

(提携)有料老人ホーム健寿の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070

デイサービスセンター安里
那覇市安里388-5 TEL.098-886-0328

デイサービスセンター三原
那覇市三原1-31-20 TEL.098-840-0051

辻町若狭クリニック
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0012

(提携)小規模多機能型ホーム若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

(提携)地域交流センター若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0552

(提携)グループホーム若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551

壺川老人福祉センター
那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139

ケアハウス常夏の島
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036

小規模多機能型ホーム牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

地域交流センター牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

小規模多機能型ホーム三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027

地域交流センター三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027

(提携)小規模多機能型ホーム辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070

(提携)地域交流センター辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070

(提携)有料老人ホーム松風邸
那覇市辻2-10-4 TEL.098-869-8557

那覇市地域相談センター若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-863-1165

辻老人憩の家
那覇市辻2-14-1 TEL.864-0580